

【活動日誌231】小学生による団体見学を受け入れました

1月の中頃、境南小学校に通う2年生の皆さんが大学と博物館の見学にいらっしゃいました。以前、生活科の学習の一環でクラスの中の一班が博物館に来てくださったのですが、学校に戻って当館のことを紹介していただき、それがきっかけとなりクラス全体での見学会の実施が決まりました(班ごとの見学の様子は【活動日誌220】で紹介しています)。

見学会当日は、「日本獣医生命科学大学」が何をしている場所なのか、校名を書いたパネルを見せながら紹介をしました。その後、本学庶務課と連携をしながら図書館・食堂・教室といった学内の施設見学を行いました。図書館では大学ならではの専門書や、多数の論文が収められた移動書架を紹介したところ、児童の皆さんは小学校との違いに驚いていました。

大学の施設を見た後は、博物館に移動してキリンの骨格標本や自然系展示室の剥製達を観察してもらいました。班ごとの見学の際は展示準備のため自然系展示室を閉鎖しており、ドアの外から展示室の様子を覗き見ることしかできなかったため、ようやく見ることができた剥製達の様子に、児童の皆さんからは驚きの声が上がりました。

通常、解説付きの団体見学では15名を上限としていますが、事前の相談によっては今回のような形で博物館をご活用頂ける場合があります。都合により見学をお受けできない場合もあるため、興味のある方はまずは博物館までご相談ください。

(学芸員 石井)

【活動日誌220】小学2年生の生活科の授業に協力しました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0xVScqvugVLjMXmz13heyeo6hSM6jgC61pf2xTppJyfsNm9fKVHCDNeAEssWTJQz6l>



- ① 「獣医って何をするひと?」「生命科学ってなんだろう?」といったふうに、本学の校名を構成する単語を一つ一つ紹介し、本学が何をしている学校なのかを紹介しました。
- ② 学内を移動する児童たち。
- ③ 先に見学をした班が小学校でキリン「長次郎」を紹介してくださったそうで、当日は長次郎を見ることを楽しみにしていたそうです。
- ④ キリンの首の骨の数のクイズに挑戦する児童たち。
- ⑤ 自然系展示室では武蔵野市で見ることができる動物を紹介し、タヌキ・アライグマ・ハクビシンの塗り絵に挑戦してもらいました。

2025年2月6日の記事

【お知らせ】キリン「長次郎」の 解体についてのレポートをアップしました

1月25日の記事にてご紹介した通り、キリン「長次郎」の骨格標本の解体作業が行われました。当日の詳しい様子をまとめたレポートが大学公式サイト「博物館ニュース」として掲載されましたので、お知らせいたします。

レポートには、facebookでは紹介していない写真も掲載しています。興味のある方はぜひご覧ください！

#キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館

■博物館ニュース 【活動報告】キリン「長次郎」骨格標本を解体しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250123-01.html/>

解体レポートはこちらからご覧ください

【お知らせ】当館の紹介が書籍に掲載されました

当館の紹介記事が掲載された書籍が2冊刊行されました。2冊とも当館の他にも様々な博物館の情報が掲載されています。博物館に興味のある方はぜひご一読ください！

■新訂 大学博物館事典—市民に開かれた知とアートのミュージアム

監修者：伊能秀明

出版社：日外アソシエーツ

価格：13,200円

総合・歴史・美術・自然史・服飾・楽器・工業科学・植物園・水族館等、さまざまな館種の大学博物館を紹介する事典。『大学博物館事典—市民に開かれた知とアートのミュージアム』(2007.8刊)の新訂版。新設・リニューアル館含め、全国144大学・短期大学等が設置する187館を収録。

https://www.nichigai.co.jp/cgi-bin/nga_search.cgi?KIND=BOOK&ID=A3032

■医歯薬学系博物館事典 増補改訂版

編著者：落合知子

出版社：雄山閣

価格：9,900円

https://www.yuzankaku.co.jp/products/detail.php?product_id=8992

全国の医学系・歯学系・薬学系などの博物館と薬用植物園について、324館園を網羅。

初版掲載の「論考編」を割愛し、新たに112館園の情報を追加した「増補改訂版」。

各館の所在地・野外部(薬草園)の有無・開館年・学芸員職員配置・休館日・入館料などの基本情報と館園の沿革と展示の概要(薬用植物園の種類)と収蔵資料・研究の特色・教育活動などを詳説。

#日本獣医生命科学大学 #博物館

【活動日誌232】キリン「長次郎」の紹介パネルを設置しました

複数の記事にてご紹介しています通り、本学で長年にわたり展示され続けてきたキリン「長次郎」の骨格標本の解体作業が1月に行われました。これに伴い長次郎の姿を見ることができなくなりましたが、先日、長次郎が展示されていたスペースに長次郎の紹介パネルを設置しました。

解説パネルは簡易的なものではありませんが、長次郎の来歴から解体の経緯までを写真とともにまとめてあります。ご来館の際はぜひご覧ください！

(学芸員 石井)

#キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【お知らせ】キリン「長次郎」骨格標本の解体について

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0iodUMFqGrWwnSWLsDTLAbBgS5BmbmFyVnqXzRPQnSgogtdYc1qWCYX9xQSnZmcLfl>

長次郎の紹介や解体の経緯はこちらの記事をご覧ください

■博物館ニュース 【活動報告】キリン「長次郎」骨格標本を解体しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250123-01.html/>

解体当日の詳しい記録はこちらからご覧ください



① 設置した解説パネル

② 長次郎がいた場所には、骨格標本を支えていた3本のポールが残されています

【お知らせ】学位記授与式にあわせた特別開館について

3月6日に挙行される本学の学位記授与式にあわせ、博物館を特別開館いたします。

博物館が活動拠点としている本学一号棟は、明治42年に建てられた旧東京市の麻布区役所庁舎を学校校舎として再利用するために移築した建物で、国の登録有形文化財(建造物)として認められています。長い歴史の中で複数回にわたり増改築が行われてきましたが、高い天井、木製の階段、レトロな窓枠など、随所に明治時代の趣が残っています。卒業の記念に、袴姿で記念写真を撮影してみてもはいかがでしょうか？

当日は、本学関係者(教職員・学生)および学位記授与式にご列席の方であれば予約なしで博物館を見学することが可能です。見学の際は直接博物館までお越してください。

なお、上記の方以外は見学に事前のご予約が必要となります。詳しくは「来館案内」をご覧ください。

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #学位記授与式 #卒業式

〈学位記授与式にあわせた特別開館〉

- ・ 場所 日本獣医生命科学大学附属博物館
- ・ 開館時間 10:30～17:00(最終入館16:30)

※ 受付は設けておりませんので、ご見学の際は各展示室入口にあるボードにシールを貼り付けてください

■ 令和6年度学位記授与式のお知らせ

<https://www.nvlu.ac.jp/news/20241211-01.html/>

学位記授与式の詳細はこちら

■ 来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

関係者以外でご見学をご希望される方は「開館情報」部分の「個別見学のご予約について」をご一読ください

【資料紹介18】外科治療薬品類集

本日は、昨年度当館に寄贈いただいた資料の中から「外科治療薬品類集」を紹介します。

「外科治療薬品類集」は、本学の卒業生から大学時代の教科書類としてご寄贈いただいたものの中の1冊です。

奥付には「昭和36年1月16日」の日付があり、今から60年以上前に発行されたものであることがわかります。また発行は「日本獣医畜産大学臨床学研究室」とされています。当館で把握している大学の歴史では、この時代に「臨床学研究室」という部屋は確認できていないため、おそらく「家畜臨床学教室」のことを表しているものではないかと考えています。家畜臨床学教室はその後分離し、家畜内科学教室と家畜外科学教室が創設され、現在の獣医内科学研究室、獣医外科学研究室および獣医放射線学研究室へと引き継がれています。

この資料は、手書きの原稿を印刷した物(表紙を除く)で、内容としては薬品が用途別に分けられて、それぞれの名称、処方その他、適応症、備考が表形式でまとめられています。

こちらの資料は非売品となっており、本学の当時の獣医学教育の内容を推察することができる大変貴重な資料の1つです。

博物館ではこのほかにも、大学の講義を記録したメモや、授業で使われていた資料などについても本学における獣医学教育の歴史に関わる資料として収集しています。

卒業生の方やそのご親族のみなさまで、そのような資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ博物館まで情報をお寄せください。

〈資料詳細情報〉

[名称]外科治療薬品類集

[発行者]日本獣医畜産大学臨床学研究室

[発行年]1961年

[サイズ]245×175×4(縦×横×厚さ mm)

(スタッフ 廣瀬)

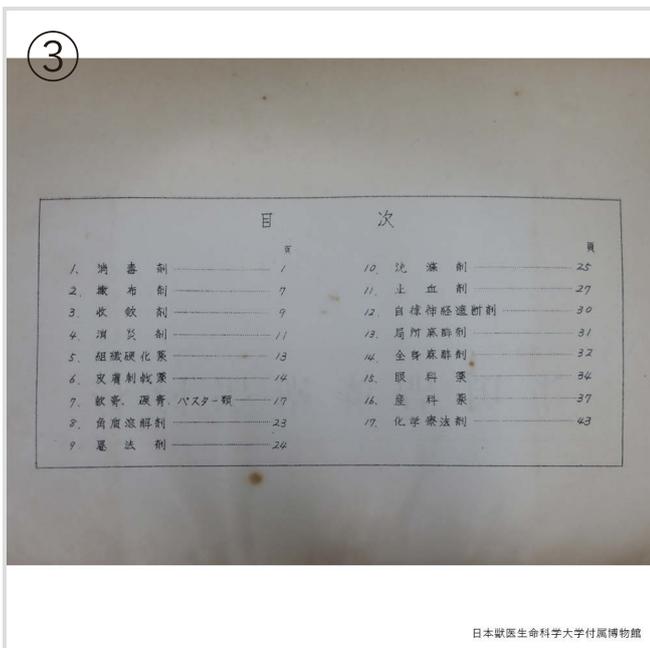
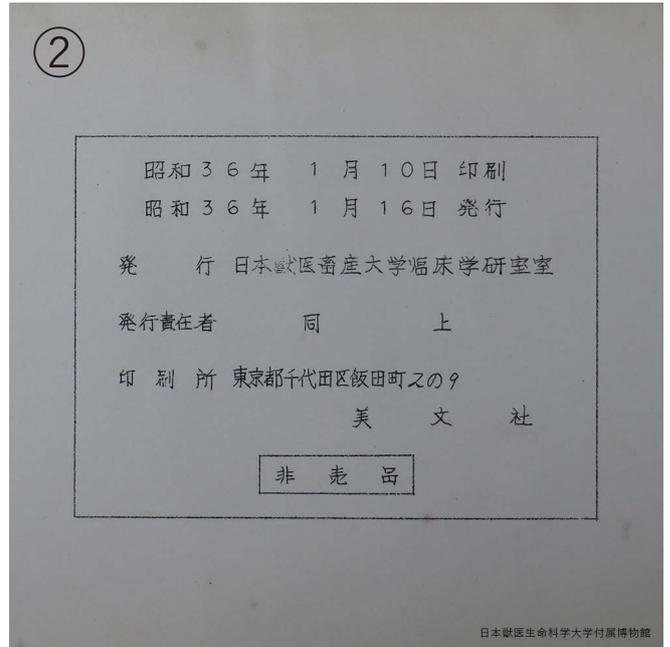
#日本獣医生命科学大学 #博物館

2025年2月20日の記事

【活動日誌226】本学附属施設関連資料をご提供いただきました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0XccWvPECLQ5pGQLciHN3U9YPpYqrTa1Qgfg8JqSPp7GBp6gxVv9rZiokUNccMikNI>

富士アニマルファームで開催されていた子供向けイベントのしおりについても、同様の大学史資料として収集しています



- ① 表紙
- ② 奥付
- ③ 目次

【資料紹介19】ツシマヤマネコのマフラー(毛皮標本)

本日2月22日は「猫の日」です。「猫の日実行委員会」が1987年に制定したもので、猫の鳴き声である「にゃん・にゃん・にゃん」の語呂合わせで決まりました。今日の記事では、猫の日にちなんで当館が所蔵するツシマヤマネコのマフラー(毛皮標本)を紹介します。

本資料は野生のツシマヤマネコ(*Prionailurus bengalensis euphilurus*)の毛皮を鞣して作ったマフラー(えりまき)です。頭先从後肢と尾までがつながった状態になっており、口元にはクリップが取り付けられています。ぐるりと首に巻いたあとにクリップで胴体部分を挟むことで、マフラーとして使うことが可能です。前肢部分の毛皮も残っていますが、一度体から取り外したあとに縫い付けられているため、不自然な位置についています。

ツシマヤマネコは長崎県の対馬に分布する野生のネコ科動物です。かつては対馬の島内各地に生息していましたが、生息環境の悪化や交通事故などにより生息数が減少し、現在では絶滅が危惧されています(環境省レッドリストにおいて絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定)。本種が数多く生息していた昭和20～30年頃までは捕獲した本種が毛皮として利用されていたそうですが、平成6年に国内希少野生動植物種に指定され、現在では捕獲が禁じられています。本資料はツシマヤマネコの保護活動をされている方から令和5年にご寄贈いただいたものであり、かつての対馬におけるヒトとツシマヤマネコの関係のうかがい知ることができる貴重な資料です。

なお、2月22日を「猫の日」とするのは日本の文化であり、国際的には8月8日が「世界猫の日(International Cat Day)」として知られています。また、ツシマヤマネコに関しては、ツシマヤマネコ保護増殖連絡協議会により10月8日が「ツシマヤマネコの日」とされています。

参考:『とらやまの森第20号』(環境省 対馬野生生物保護センター ニュースレター, 2003) <https://kyushu.env.go.jp/twcc/torayama>

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #猫の日 #ツシマヤマネコ

(学芸員 石井)

■International Cat Day

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/353796719810944>

2021年にInternational Cat Dayについて紹介した記事です



- ① 全体像
- ② 口元のクリップと前足
- ③ 額の縦縞はツシマヤマネコの特徴の1つです

【今日は何の日7】世界野生生物の日

3月3日は国連が定めた「世界野生生物の日」(WWD: World Wildlife Day)です。世界野生生物の日は、ワシントン条約(CITES: the Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora)が1973年3月3日に採択されたことを記念して、2013年に国連が制定した記念日です。世界中の野生動物や植物が私たちの生活や地球環境に貢献していることを祝う日とされています。

今年2025年は「Wildlife Conservation Finance」をテーマに、世界中でWWDを祝う様々なイベントが行われています。毎年日本でも各地の動物園などでも野生生物の日を記念した解説ツアーや記念イベントなどが行われています。

当館では現在、自然系展示室で「日本獣医生命科学大学附属博物館 第1回特別展 NVLU 奄美プロジェクト - 研究・保全・そして未来 -」を開催しており、写真で紹介しているような奄美大島の貴重な野生動物たちを剥製でご覧いただけます。

残念ながら、今年の3月3日は月曜日のため当館は休館となっています。また、本日2月27日と明日2月28日は、本学で開催される入試の都合により臨時休館となっております。近日中ですと明後日3月1日は開館しておりますので、ご興味のある方は週末のお出かけの際に当館までいらしてはいかがでしょうか？

#WorldWildlifeDay #WWD2025 #CITES #日本獣医生命科学大学 #博物館 #奄美

■【お知らせ】特別展「NVLU 奄美プロジェクト - 研究・保全・そして未来 -」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20241010-01.html/>

奄美展の詳細はこちらで紹介しています。

■Official website of UN World Wildlife Day

<https://www.wildlifeday.org/en>

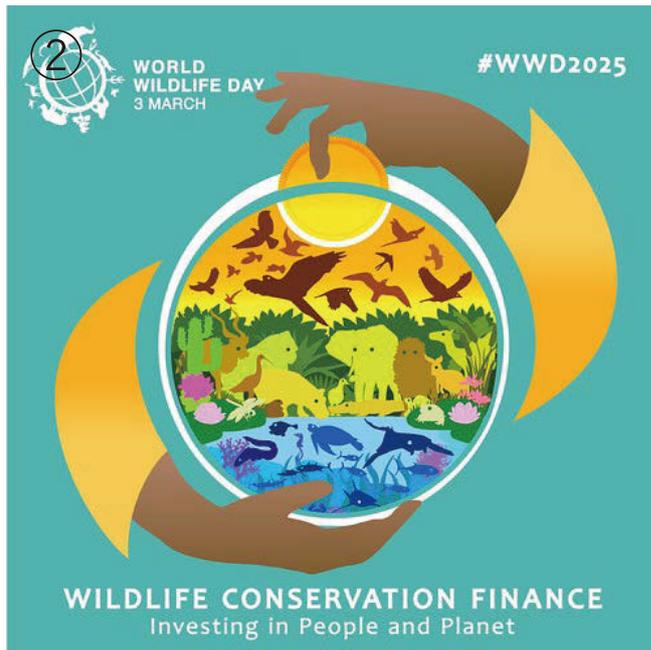
国連の世界野生生物の日の公式サイトです。

下の方に、各国で行われる世界野生生物の日の記念イベントがマップで表示されています。

■世界野生生物の日イベントを開催します！

<https://www.nonhoi.jp/event/p12610/>

のんほいパーク(豊橋総合動植物公園)では今年の世界野生生物の日のテーマにあわせて、野生動物と倫理的消費(エシカル消費:環境や社会などに配慮した消費行動)について考えるポスター展示やガイドを動物園で行うそうです。



- ① World Wildlife Day の公式ロゴ
- ② World Wildlife Day 2025 の公式ポスター
- ③ 奄美展で展示している奄美の生息する希少な鳥類の剥製たち
左からリュウキュウコノハズク、アマミヤマシギ、ルリカケス、リュウキュウアカショウビン
- ④ 奄美群島に生息する様々な固有種についてもパネルでもまとめて紹介しています
- ⑤ 天然記念物で、種の保存法における国内希少野生動植物種でもあるケナガネズミの剥製も展示しています。このアングルだと見えませんが、後ろにツートンカラーの長い尻尾が垂れています。